

第7章 今後の取り組みの方向性

7-1 段階的・継続的な取り組み（スパイラルアップ）に向けての体制

本構想が一過性の取り組みで終わることがないように、策定後も事業の着実な実施・評価・改善を図っていく等、継続的な改善の取り組みを行っていきます。基本理念に記載しているようにハード面とソフト面の取り組みをバランスよく推進するためにも、今後も市民等の参画のもと、公共交通事業者、道路管理者、建築物管理者、公安委員会、関係行政機関等で構成する組織を設置します。そして、本組織を中心として適宜事業の評価を行い、必要に応じて見直すPDCAサイクルにより、事業スケジュールの適切な管理と事業の質の確保を図っていきます。

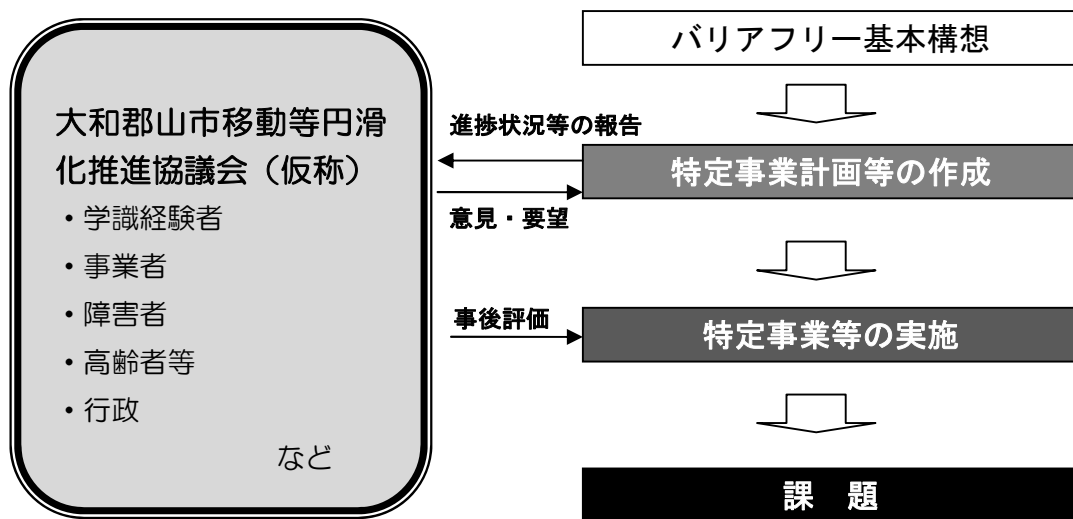


図 7-1 継続的な組織のイメージ

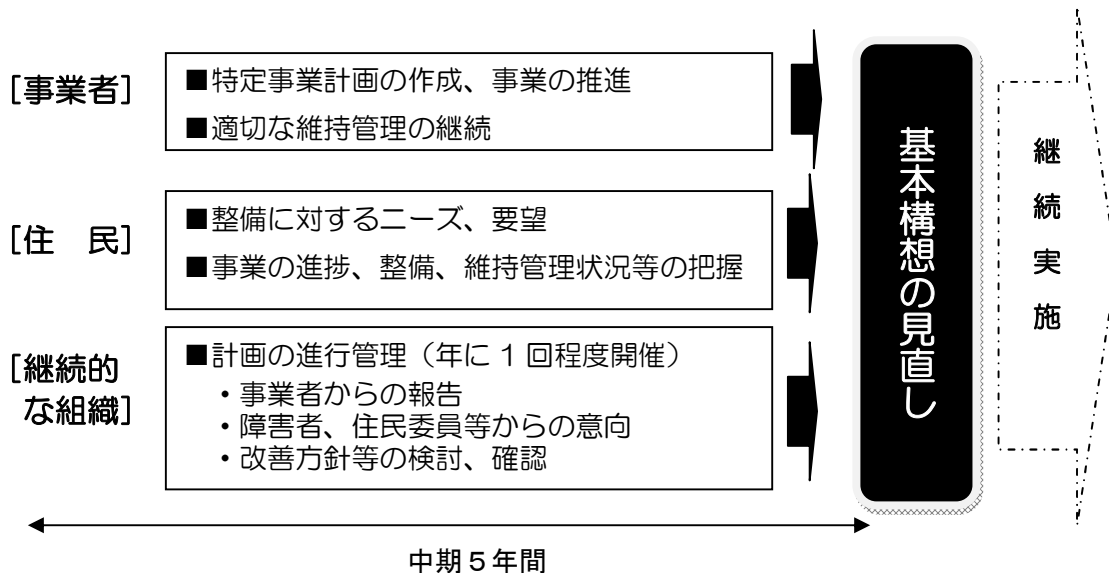


図 7-2 基本構想策定後の進め方のイメージ

*PDCA:「計画(Plan)」を立て、「実施(Do)」し、実施結果を「確認(Check)」して、計画からずれていれば、「修正する措置(Action)」をとり、この過程を継続して質の向上を進めるものです。

7-2 市全体でのバリアフリー化の推進

本基本構想では、優先的にバリアフリー化を図るべき重点整備地区を中心として策定されました。しかし、重点整備地区以外の施設や経路等に対する改善要望もたくさん頂きました。

この基本構想で示したバリアフリー化の基本理念と方向性の考え方を、さらに重点整備地区外のまちづくりへと展開していくことも重要です。総合計画や都市計画マスタープランといった上位計画も含め、幅広い発想のもと、市のまちづくりを進めていきます。また、市民からの要望が高い箇所や緊急に対応が必要な事項については、適宜対応を行っています。

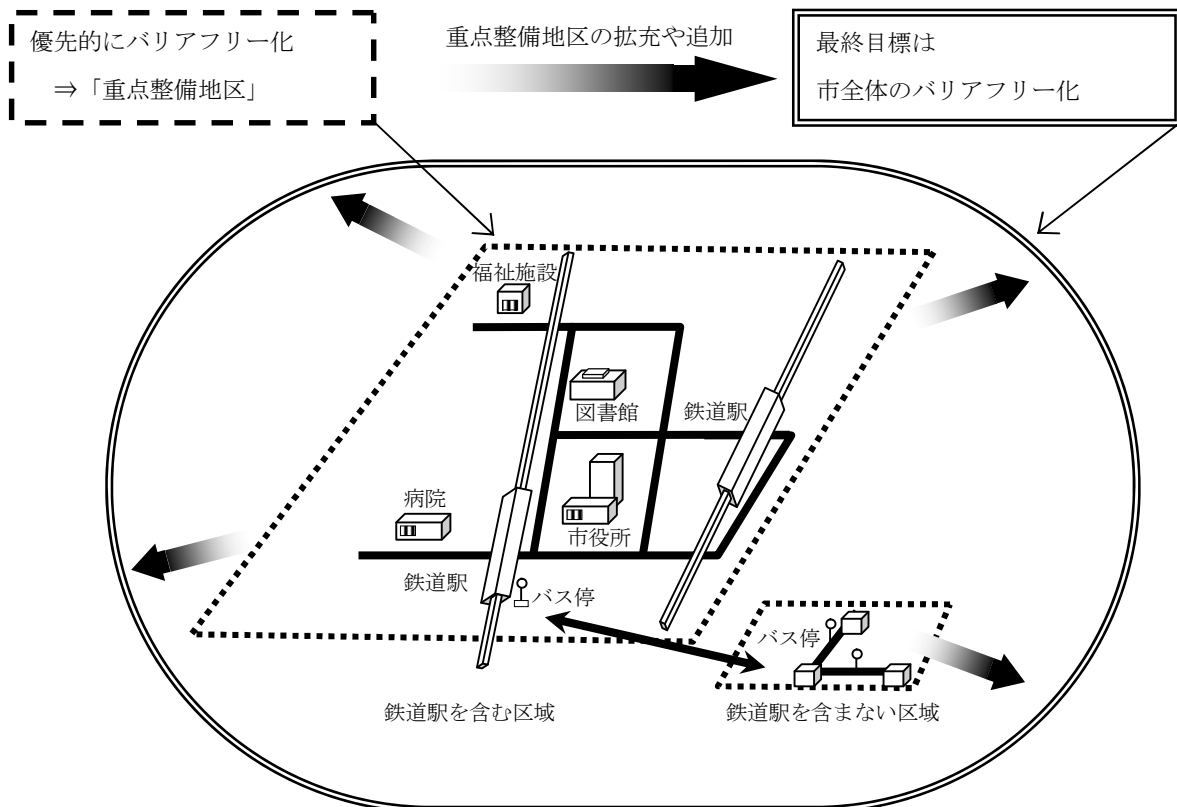
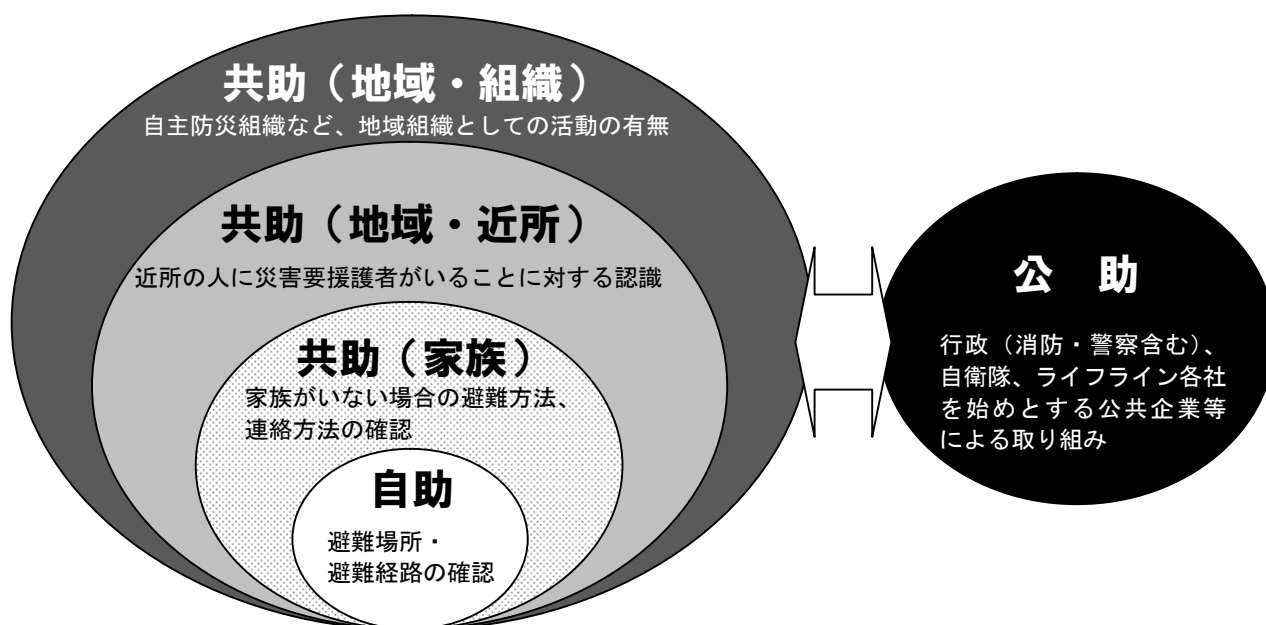


図 7-3 市全体でのバリアフリー化に向けて

7-3 災害時におけるバリアフリー

バリアフリー新法は日常時におけるバリアフリー化を目的として定められているので、本基本構想では、災害時におけるバリアフリーについて定めてはいません。しかし、災害時におけるバリアフリーは、すべての市民の安全を確保するために非常に重要な課題であると認識します。本基本構想で定める施設のハード整備や、心のバリアフリーを推進し、日常時のバリアフリー化が進んでいくことが、災害時におけるバリアフリーにもつながります。



* 防災対策の基本である「自助」、「共助」、「公助」が連携することで防災対策は効果を発揮します。これらの理念に基づき大和郡山市でも、自主防災組織の推進、災害時要援護者の避難支援計画に基づく情報の共有化を進めています。

図 7-4 避難時のポイント

参考：「東日本大震災における視覚障害者の避難について（近畿大学・柳原崇男）」をもとに加筆

7-4 持続可能な交通体系の構築

バリアフリー新法では、主に施設や歩道のハード整備による移動等の円滑化を図っていくことを目的としています。しかし、誰もが安全・安心に移動できるためには多様な交通手段の確保が求められます。例えば、なんらかのハンディにより通常の交通機関が使えない方のために提供される公共交通（スペシャルトランスポート）として、施設送迎バスの充実や、共助的なドア・ツー・ドアサービスといった新たな移動手段も含めた、持続可能な交通体系の構築に向け、関係者と共に検討を行っていきます。

7-5 子育て世代のバリアフリー

子育て世代からも、道路や歩道のバリアに関して多くの意見を頂きました。歩道の段差やデコボコはベビーカーや妊婦にとっては大きなバリアとなっています。また、小さな子どもを連れた歩道のない道路の移動は危険であることが指摘されています。さらに、マタニティマークの普及と理解、授乳スペースの確保、スーパーやレストランでの子どもに配慮したサービスの充実、子どもが安心して遊べる場所の確保、外出時の子連れへの手助けといった要望もありました。本基本構想に基づき道路や施設のバリアフリー化を進めていきますが、子育てしやすいまちづくりに向けて市民、民間事業者、行政等の多様な関係者が協働して多方面からの支援や取り組みを行うことが重要です。

7-6 観光バリアフリーの推進

本基本構想の対象者には、大和郡山市の来訪者も含まれています。JR・近鉄郡山駅周辺地区には、城跡公園をはじめとした市を代表する観光施設や文化・歴史資源が点在し、多くの観光客が訪れています。だれもが安心して観光ができるよう、本基本構想に基づき施設のバリアフリー化を推進するとともに、例えば観光ボランティアガイド等による移動支援や移動弱者向けの観光ルートの提案等、観光振興や活性化に向けたまちづくりと一体となった観光バリアフリーの推進をめざしていきます。